

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 220 事業名 自立支援医療費給付事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	2	障害のある人の自立と社会参加の推進
基本方針	1	社会活動への参加促進

事業種別		主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令	障害者総合支援法	
関連個別計画	和歌山市障害者計画	
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課	松村 維人 (435-1060)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	民生費	
	項	社会福祉費	
	目	障害者自立支援費	
	大事業	障害者自立支援事業	
事項	自立支援医療費給付事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	障がい者福祉の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	障害者の日常生活を容易にするために、障害程度を軽減する手術等の医療費の支給をする。	指定医療機関で身体上の障害を軽減する手術等が認められたときに医療費の給付を行う				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		入院分：2,229件(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・言語・咀嚼機能障害を含む)入院外 10,563(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・音声・言語・咀嚼機能障害を含む。計12,792件	入院分：2,589件(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・言語・咀嚼機能障害を含む)入院外 12,296(肢体・心臓・腎臓(生保分を含む。)免疫・肝臓・音声・言語・咀嚼機能障害を含む。計14,885件			

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	849,623	945,773	1,075,827		1,075,827		1,075,827		1,075,827	
伸び率 (%)	-	-	26.6%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	14,941	13,808	13,807	13,807		13,807		13,807	
	非常勤職員	209	490	0	0		0		0	
	小計	15,150	14,298	13,807	13,807		13,807		13,807	
国庫支出金	424,812	472,886	537,914		537,914		537,914		537,914	
県支出金	212,405	236,443	268,956		268,956		268,956		268,956	
市債										
その他										
一般財源(税等)	212,406	236,443	268,957		268,957		268,957		268,957	
所要人数	常勤職員	2.03	1.85	1.85	1.85		1.85		1.85	
	非常勤職員	0.13	0.33	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳	扶助費									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	入院分	年度目標値			1,920	2,589			
		実績値			2,229				
	単位	件	全体目標値						
			全体目標達成度			116.0%			
	入院外分	年度目標値			9,426	12,296			
		実績値			10,563				
単位	件	全体目標値							
		全体目標達成度			112.0%				
成果指標	延給付数	年度目標値			11,346	14,885			
		実績値			12,792				
	単位	件	全体目標値						
			全体目標達成度			112.7%			
	単位	件	全体目標値						
			全体目標達成度						

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	障害者総合支援法による事業であり今後も事業を維持継続していきたい
「見直し」 「改善」案	